

## 受講者の感想文、保護者からの手紙、小学校校長・教諭からの手紙

### 受講者感想文

- ・ 自分は、このマナーキッズテニスのことを聞いてどんなことをするのかと考えてきました。テニスをするのは分かっていたけどマナーはどうやってするのかなどと思いながら、その日を楽しみにしていました。そして、最初にしたのは、小笠原流の礼儀作法でした。最初は、あまり声を出していなかったけど少しずつ声を出して慣れようと思いました。そして、テニスを始めるとどんどん慣れていきました。

コーチの人が色々教えてくれたのですぐできるようになったけど最後のボールの打ち返しではボールがラケットのわくの部分にあたり、変な方向にとんでいったりしましたが、24回もできたのでよかったです。

このマナーキッズテニス教室では、礼儀作法の大切さやテニスを通していい人になれるということ楽しさが分かりました。これからも、礼儀を重んじて他のことでも、マナーを守っていきたいと思います。

(福岡県田川郡川崎町立川崎東小学校体育授業、6年生、男子)

- ・ 私は、小泉さんの文章を読んで友達は大切なんだなと思いました。私が、心にのこったのは、第3の友です。「友は人生の宝である。わが信ずる友、われを信じてくれる友、何でも語り合える友」というのが一番心に残りました。次に心に残ったのは、第一の練習または練習の体験です。練習しなければ百メートルを15秒で走ることは不可能であろうということが気に入りました。練習しなければ何をしても不可能だ。ということが気に入りました。

私は小泉信三さんの文章を読んで友達や練習は大切だということ、学びました。私はこれからも小泉さんが言ったことをいかして、中学や高校などに行っても、大切にしていきたいです。

(東京都杉並区立杉並第七小学校体育・道徳融合授業、6年生、女子)

- ・ 私は、マナーキッズテニスをやって、学んだことはたくさんあります。その中で2つ心に残ったことがあります。一つ目は、お辞儀をしたあとに相手と目を合わせるということです。私は、以前までお辞儀をした後は目も合わせないでいたので、このマナーキッズテニスでお辞儀をした後には、かならず目を合わせるということを学びました。2つ目は、楽しくテニスをやるということです。何でも楽しくやっているとそのやることが楽しく感じて「もっとやりたい」、「続けたい」など思って、興味を持てるようになるからです。このことは、すべてマナーキッズテニスで学んだことです。ほかにもたくさん学んだことがありますが、このことはすべて続け、小さな子どもたちにも礼儀を教えられるような、すばらしい大人になっていきたいと思います。

(青森県八戸市新井田小学校体育・道徳融合授業、6年生、男子)

### 保護者からの手紙

- ・ 子供はとても勉強になったと思います。日常生活でこれだけ挨拶を気にすることはなかったし、自分自身も知ってはいても実行していない現実がありましたので、もう一度見

直すのによい機会になりました。自分は、中学三年間部活（軟式庭球）をしていました。一年生は球拾いと体力作りの毎日、挨拶はもちろん先輩達は怖い存在でした。現在では、スポーツ施設も充実しており、ロール引きは自分でする機会も減っているのではと感じます。武道では道場に入る前に一礼、国旗に一礼、先生に・・・と一つ一つ礼儀があり武道を習っている子どもたちは知らず知らずのうちに礼儀というものを身につけているのだと思います。テニスやその他のスポーツでも、もっともっとマナーが向上すると良いと思います。

練習を積み重ねて努力すること、強くなることは素晴らしいことですが、最近人気のボクシング選手の立ち居振る舞いをみるとマナーが伴っていないように思われます。そんなことを思いながら、子どもたちのボールの玉拾いをしていました。スポーツ、学校、職場、日常、「あいさつ」はコミュニケーションをとる上で大切だと思います。今後もこのプロジェクトが発展し、全国に広まると良いと思います。

（北海道釧路市保護者）

- ・ 躰についての講義は、ドキリとするところがあったりで、これから自分が子どもに対してしなければならぬことがわかり、とても参考になりました。日本の躰はとても奥深いと思いました。

スポーツを通して礼儀を知り、人を敬う気持ちを持ち、大切な友をつくることができたなら、子どもにとって素晴らしい財産になると思います。

子供達の様子をみて、マナー（挨拶）は、誰でも教えれば、必ずできるのだと感じました。勉強だけでできれば、テニスだけ強ければというのではなく、正しいマナーを身につけた大人になって欲しいと思います。

（東京都西東京市保護者）

### 小学校校長・担任教諭からの手紙

- ・ 先日11月7日には、東京より遠路はるばる九州福岡の本校真崎小学校までおいでいただき、子ども達にテニス及びマナーのご指導をいただきまして、誠にありがとうございました。

このお話を保護者の方よりお聞きしました時には、「まず無理です。」ということでお断りいたしましたが、更に詳しいお話を伺い、お願いするに至りました。主旨が「テニスを通して子ども達にマナーを！」ということと理解でき、本校が課題にしている「あいさつや言葉づかいを身につけさせる」ことに繋がりましたので、厚かましくお願い致した次第です。

実際に指導をしていただく中、子ども達の生き生きした姿を目にし、実施していただいてよかったなと感謝しております。子ども達の感想にもありますように、日頃はあまり大きな声が出せない子も指導を受けるにつれて、だんだんと声を大きく出せるようになってきたことに本人自身が気づき喜んでいました。自信もついてきたと思います。また、今まであいさつについて意識したことのない子もマナーの意味や大切さを学び、これから実践していきたいと思ったようです。他にもテニスの楽しさを

味わえた子どもたくさんいました。

これまで、学校では日常の学級指導の中や道徳の授業などで「あいさつ」や「マナー」についてはずっと指導してきておりますが、子ども達の心に届く指導は本当に難しいと日々感じていました。しかし、今回はGT(ゲストティーチャー)という形で、第3者のテニス協会の皆様方から指導いただいた事が子ども達にとっては、まささらな気持ちで心の中にすんと素直に受け入れられたように思います。感想文にも素直な気持ちを書いています。誤字、脱字や、表現等読みにくい所もありますが、大目にみて読んで頂けたらと思います。

今回の教室は、子ども達には大変よい経験になりましたので、町内の小学校にもお知らせしました。また、田川郡の校長会の折にも、お伝えしたいと思います。

最後になりましたが、たくさんのテニス用具を寄贈頂きまして、誠にありがとうございました。4・5・6年生が1・2・3年生にテニスのマナーとプレーの仕方を教え、全校児童で楽しく活用させて頂きたいと思います。

(福岡県田川郡川崎町立真崎小学校体育授業、校長)

- ・ 前半はテニス教室、後半はマナー教室とほぼ3時間にわたってみっちり学習ができました。子ども達はもとより教職員も一緒に学ばせていただき、本当に有難く感謝しております。

特に、鈴木総師範の言葉とお辞儀は別々にというご指導に、今まで同時に行うという誤った作法で子ども達に接していたかと思うと汗顔の至りです。他にも、「あいさつは頭を下げるのではなく、心を下げる」「自分の心のリボンと相手のリボンを真ん中でしっかり結ぶ」「良い姿勢をすると、前頭葉が働きよく考えることができ、前向きな考えや行動ができるようになる」「マナーの基本は、自分がされていやなことは、人にしない、約束を守る、人の話を聞く時は相手の目を見て聞く、マナーは相手に対するおもいやり・優しさを表現すること」等々、講話の一つ一つが心にしみわたりました。

子ども達も、自ら実践しようとする意欲が見られるようになりました。あいさつの仕方、職員室の出入り、集会での立ち居振る舞いなど、日常的にできるようになりました。

私達教職員も、学んだことで自分自身の振り返りを行うと共に、子ども達の確実なマナー習得に向け、サポートしていきたいと考えております。早速、お客様のお茶の接待等お菓子を先に、そしてお茶はお客様の右膝頭の前に両手で差し出すという教え通りに実践しているところです。

また、保護者の方々からも、大変いいお話を聞かせていただいて感謝していますという喜びの声が多く上がってきています。実際、お話にあったように、朝のあいさつを子どもの方から言わせている。「ちゃん、おはよう」と顔を身ながら、必ず名前を言ってあいさつをかわしている等、それぞれの家庭で実践にうつされているようです。

このような素敵な出会いと機会を与えてくださった皆様に衷心より感謝申し上げます

す。本当にありがとうございました。

（福岡県飯塚市立八木山小学校体育・道徳融合授業、校長）